

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡市立西部療育センター分園 すてっぴ南庄		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75	(回答者数) 66
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	西部療育センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> 西部療育センターと連携し、情報を共有しながら、児童発達支援センターの入園保留児の受入れ、幼稚園・保育園に通いながら療育を必要とする子どもの受入れを行っている。 西部療育センターの心理士、ケースワーカー、訓練士等による保護者向け学習会を実施している。 	西部療育センターで実施する職員研修等を受講する機会を増やし、職員の専門性を向上させ、増大する療育ニーズに対応する。
2	幼稚園・保育園との連携	幼稚園・保育園等の母集団との連携を取るため、希望する園からの療育の見学の受入を行っている。	通園児や保護者のニーズや困り感に応じ、適時園との連携を行う。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の充実	休園等の保護者へのお知らせ、感染症発生時の注意喚起等の伝達手段が電話のみであり、周知に時間を要することがある。欠席連絡等についても、保護者の利便性を考慮し、連絡方法を検討する必要がある。また、療育ニーズに応えるため、保護者へ「学習会」「子どもへの関わり方」等の各種情報等を発信することが必要である。	連絡用アプリの導入により、保護者への迅速な連絡を行う。ホームページ等を活用し、情報の発信を行う。
2			
3			